

議会
だより

あしや

町

NO. 189

平成 28 年 5 月 15 日発行
福岡県芦屋町議会

もくじ

3月定例会

- 28年度こんなことやります・・・・・・・・・・ 2
- 中学3年生まで医療費を無料化・・・・・・・・ 10
- 6人が町政を問う（一般質問）・・・・・・ 14
- 町かどインタビュー・・・・・・・・・・・・ 22



わんぱーく（海浜公園）に新しく設置された大型遊具。GWはたくさんの家族連れでにぎわっていました。（平成28年5月1日撮影）

第1回定例会が、平成28年3月4日から16日までの13日間の会期で開催されました。7、8日に行われた一般質問では、6人の議員が登壇しました。

条例、補正予算、新年度予算など37議案が上程され、すべての議案が可決されました。



子

子ども医療費無料化 中3まで拡大

県の制度改正に伴い、10月から子ども医療費の支給対象を中学3年生まで拡大します。



28年度 なことをやります



通

通学費補助 小中学生・高校生等

バスの定期代の半額を補助するものです。
(高校生等は最寄りのJR駅まで。)



小

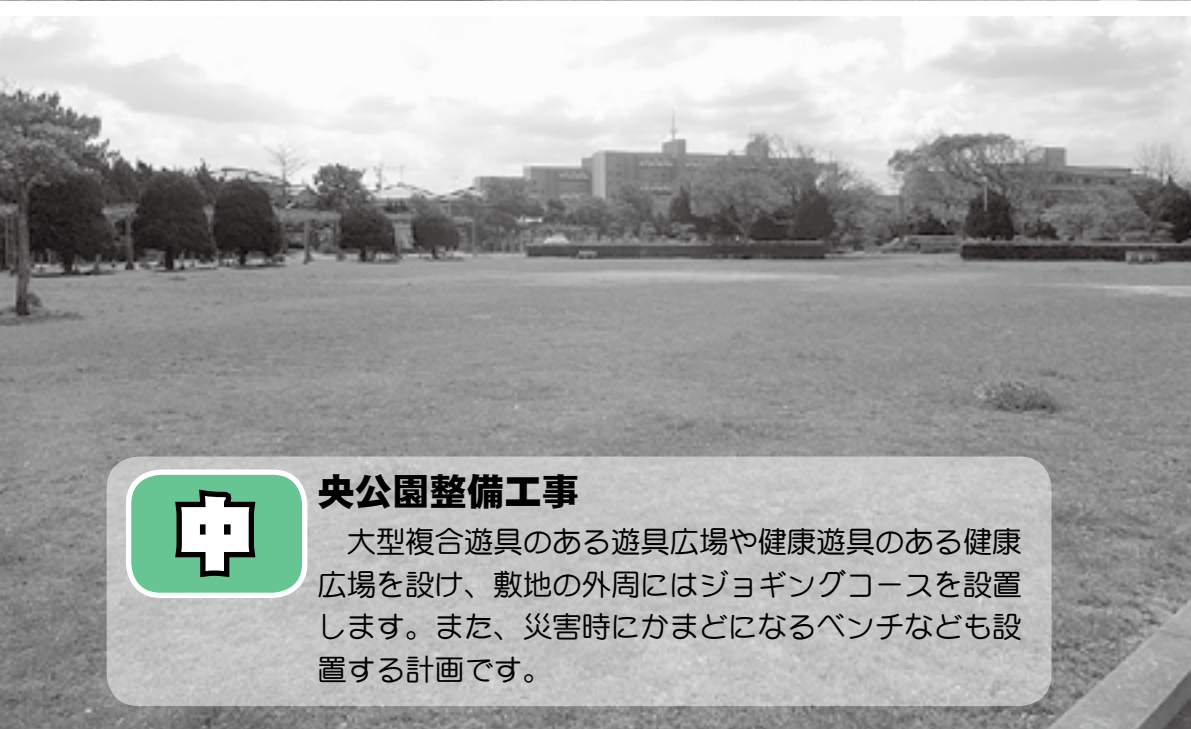
学校にエアコン設置

各小学校へ順次設置してまいります。



ウンバス中型車両購入

現在運行している車両の老朽化及び利用者の増加により中型車両を購入します。



央公園整備工事

大型複合遊具のある遊具広場や健康遊具のある健康広場を設け、敷地の外周にはジョギングコースを設置します。また、災害時にかまどになるベンチなども設置する計画です。



こん



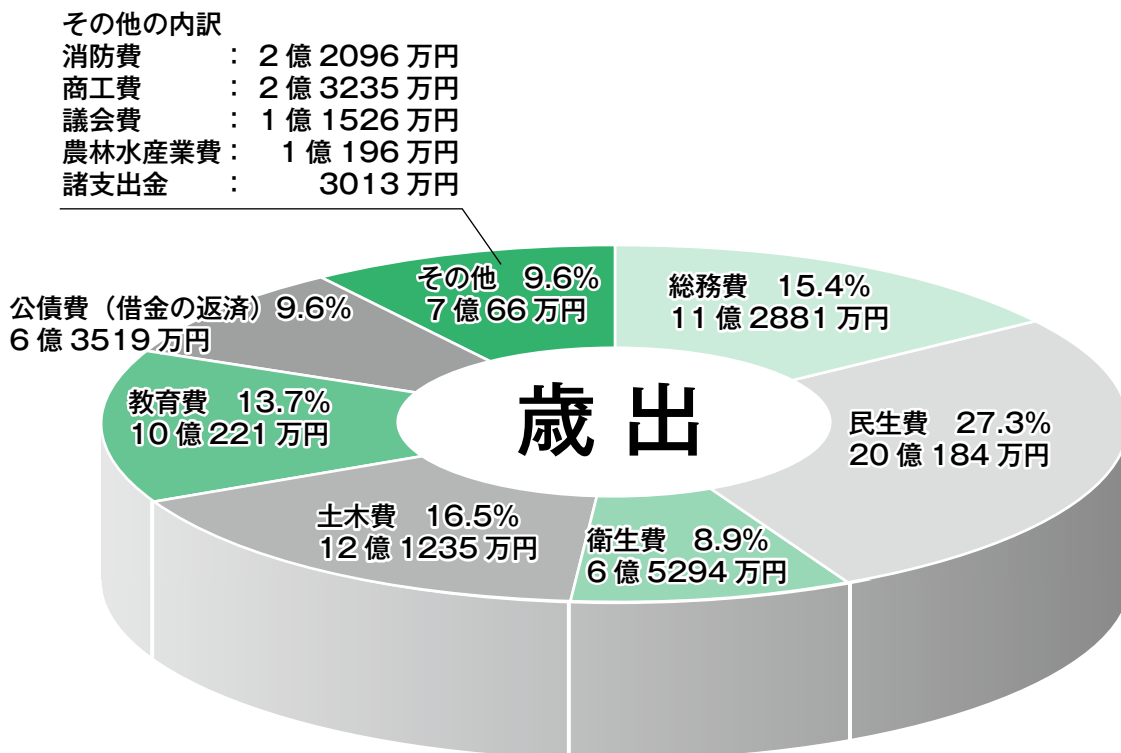
病院外周道路工事

総合運動公園造成地内に移転する芦屋中央病院の外周道路工事です。

教育環境の充実

万円(前年度比 7.0%減)

一般会計歳出(使いみち)



28年度の予算状況

※ 100万円未満 四捨五入

会計名	予算額	前年度比
一般会計	73億 3400万円	▲ 7.0%
地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計 ^{注1}	13億 5100万円	486.2%
国民健康保険特別会計	20億 5400万円	▲ 1.6%
後期高齢者医療特別会計	2億 1300万円	0.9%
国民宿舎特別会計	1億 3100万円	21.2%
給食センター特別会計	1億 4400万円	▲ 77.3%
モーターボート競走事業会計	800億 800万円	1.0%
公共下水道事業会計	7億 2100万円	▲ 2.9%

※注1 地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計
病院が借り受ける過疎債や病院債を町を経由して病院に支出する会計。

28年度
予算

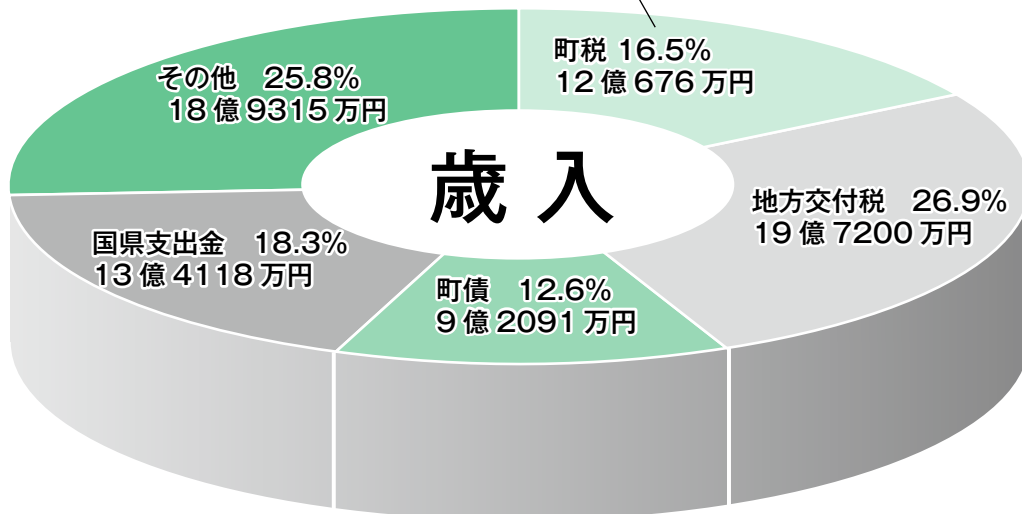
子育て支援

一般会計 73億3400

一般会計歳入(財源)

自主財源・・・27億7959万円
(38.0%)
依存財源・・・45億5441万円
(62.0%)

町民税 : 5億7511万円
法人税 : 3221万円
固定資産税 : 4億4236万円
軽自動車税 : 3607万円
たばこ税 : 1億2101万円



小学校へのエアコン設置や中学3年生までの医療費無料化など子育て、教育環境の充実

福岡県の子ども医療費助成制度の改正により、10月から助成対象年齢が小学校6年生までに引き上げられることに伴い、町独自の制度として10月から中学3年生までの医療費が無料となります。また、3つの小学校には順次エアコンを設置し、教育環境の充実が図られます。

そのほかの28年度新規事業及び主な事業は次のとおりです。

28年度 新規事業及び主な事業 (10万円未満 四捨五入)

- ・【新規】小学校空調等整備事業 3億2700万円
- ・【新規】中央公園等整備事業 1億5660万円
- ・【新規】新後水団地設計等公営住宅整備事業 4020万円
- ・【新規】さわらサミット実行委員会補助金 300万円
- ・遠賀・中間地域広域行政事務組合負担金(ごみ・し尿・火葬施設) 2億3960万円
- ・介護保険広域連合負担金 2億2180万円
- ・子ども医療費助成金 6240万円



質疑

組長手当

問 自治区の活性化を図るため組長手当を復活する考えは。

答 行財政改革で取りやめた経緯があります。財源の確保が未定で、意見の集約もできていないため、今後の研究課題とします。

どこどこ商品券

問 28年度から始まるにどこ商品券の予約制は。

答 多くの町民が利用できるよう、予約については町が主導となり、周知を図り、予約券を配布することにし

ています。購入限度額は未定です。

さわらサミット

問 さわらサミット実行委員会補助金300万円の内訳及び組織体制とそ

の内容は。

答 補助金の内訳は、ポスター、チラシ等の宣伝費、当日の警備員やテナなどの費用、組織運営の経費です。組織体制は漁協、商工会、観光協会

の関係者15人程度

で、現在準備委員会を立ち上げ、検討しています。

さわらサミット

は、さわら料理の店を十数軒程度集めて開催する予定です。

今回は福岡県内で情報発信し、来年度は九州圏内に広げ、いずれは全国に展開していきたいと考えています。

各小学校的エアコン設置

問 各小学校的の空調機器設置工事の工程は。

答 山鹿小は、単年度予算で28年度に工事が完了し、芦屋小と芦屋東小は平成30年5月頃に工事が完了する予定です。

山鹿地区テレビ補助金

問 山鹿地区の人の受信料は、町が補助しているが、山鹿地区も自衛隊の騒音被害を受けており、

本来は防衛省が負担しなければならぬ。



27年度ふるさと納税の返礼品イカをモチーフにした鋳物の風鈴

今後の防衛省負担の実現の見通しは。

答 基地対策協議会等で防衛施設局補助地域へ拡大の要望はしています。法律で決まっています。騒音測定をもう一度して引き続き拡大を要望していきます。

松くい虫防除

問 農林水産業費の委託料を減額した理由は。

答 昨年までは松くい虫の航空防除委託があったが、航空防除は自衛隊が行うことになったため、減額となりました。

問 基地外の航空防除はしないのか。

答 航空防除の大部分は基地内なので、町では堂山の周辺だけを航空防除してしました。28年度は、堂山はラジコンヘリを使って航空防除する計画です。

がんばれふるさと応援寄付金

問 がんばれふるさと応援寄付金(ふるさと納税)の今後の取り組みは。

答 返礼品として品物だけでなく、里帰りができない人のために、お墓や空き家の掃除等を研究していきます。

問 基地外の航空防除はしないのか。



地域おこし協力隊の二人 左から長島さんと沼さん

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の活動内容は。

答 人口減少や高齢化などが急激に進んでいる地方に地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってまいります。協力隊員が定住・定着をすること、意欲ある都市住民ニーズに応えながら、地域力の維持・強化をはかっていく制度です。

1年目は、企画政策課

防犯街灯のLED化

問 防犯街灯のLED化はいつ完了するのか。

答 26年度からLED化を進めています。予算に応じて設置し、あと数年で町内すべての防犯街灯がLEDとなります。

反対討論

公園整備に住民の声を反映させよ

川上誠一議員

子ども医療費の無料化や学校へのエアコン設置など評価できる施策もあるが、1億円を超える中央公園やまゆう公園の整備が上程されている。公園の整備は住民の声を取り入れ、説明を十分にを行い、理解を得た中で進めるべきだ。

また、介護保険制度については被保険者の保険料や利用料などの負担も限界を超えている。

賛成討論

小学校へのエアコン設置などを評価

内海猛年議員

委員会審議などさまざまに検証を行い、1点目に中学生までの医療費無料化、妊娠期から子育て期までの総合相談支援窓口の設置、出産祝金。2点目は中央病院移転に伴うバス運行などの公共交通見直し。3点目は農業振興の汐入川改修工事。4点目は3小学校への空



改修工事が行われる汐入川

調設備工事や小中学生・高校生等の通学費補助などが評価できる。

28年度モーターボート競走事業会計予算

(賛成多数・可決)

反対討論

最前線で働く従事員を無視した予算

横尾武志議員

町の予算では、職員給与、臨時職員の時給が上がっている。総務課長によれば、平成20年度から地域手当の廃止、職員給与も下がり、今まで我慢してきたということだ。競艇場の従事員は赤字の10年前から低賃金で働いている。片方を無視し、片方を優遇するのか。

競艇場の最前

線でお金を稼いでいる従事員をないがしろにするような予算は認めない。

賛成討論

付帯意見には問題がある

松上宏幸議員

労働者の賃金や労働条件は、労使交渉が最優先する。「予算執行にあたっては所管委員会と十分に協議するように」という付帯意見には問題があるが、基本的には賛成する。

28年度国民宿舎特別会計予算

(賛成多数・可決)

賛成討論

観光振興の中核施設

松岡泉議員

国民宿舎は観光振興の中核となる施設であり、現時点での予算は妥当である。

年金生活等支援臨時福祉給付金

補正
予算

65歳以上の住民税非課税世帯 1人につき3万円

一般会計補正予算 3300万円増額

歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
年金生活者等支援臨時福祉給付金 (住民税非課税世帯で28年度中に65歳以上になる人が対象)	5100万円
国民健康保険特別会計繰出金 (国民健康保険特別会計の赤字補填)	8000万円
障害福祉サービス給付費	1200万円
山鹿保育所指定管理料	1100万円

歳入では、国の補正予算による臨時福祉給付金等給付事業費補助金5100万円を増額措置しています。また、歳出では国民健康保険特別会計の赤字補填のための繰出金8000万円、山鹿保育所指定管理料1100万円などを計上するとともに、年度末の所要額確定による不要額を減額し、総額3300万円の増額補正です。

(賛成多数・可決)



27年度一般会計補正予算(第4号)

(賛成多数・可決)

質疑

山鹿保育所指定管理料

問 山鹿保育所指定管理料の増額理由は。

答 入所者の増加と保育料の改定によるものです。

佐野市交流事業

問 佐野市との交流事業の成果は。

答 今までに延べ500人以上が交流事業に参加しています。事業当初に参加した子どもが成長し、ボランティアスタッフとして、この事業を支援したり、クラブ活動において地域のリーダーとして活躍するなど、よい成果を収めています。

学校の監視カメラ

問 各学校の監視カメラの設置台数は。

答 各小中学校5台ずつ

設置しています。

自治区の現状

問 自治区の組や子ども会の人数が減少している現状は。

答 平成26年からの1年間で、組数は271組から267組に。

子ども会の加入人数は、368人が313人となっています。

中学校太陽光発電設備

問 中学校の太陽光発電設備の用途は。

答 中学校は災害時の避難所となるため、体育館の照明用電力として利用します。また、日常でも一部を照明やコンセント用電力に利用しています。



佐野市との交流事業で行われたカヌー体験 H 27.8.4

川ひらた船

問 川ひらた船の補修工事の内容は。

答 老朽化が進んでいるため、県の文化財保護課と協議し、下から支える工法で腐食を防ぐ保存を行います。総事業費は200万円です。



老朽化が進む川ひらた船（中央公民館敷地内に展示）

27年度地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計補正予算(第1号)

(賛成多数・可決)

反対討論

患者に寄り添う本来の病院と言えるのか

妹川征男議員

病院の建設費は人件費、資材の高騰で、46億円から52億円と増額した。現在、病院の周辺道路工事で、土日や雨にかかわらず、岩盤を掘削しており、近辺住民から騒音被害の抗議があるので

はないか。また、院内薬局にはならないようだが、患者に寄り添う病院こそが本来の病院といえるのではないか。オープン後も、町民の理解や経営状況が心配である。

反対討論

税収減、借金により町財政に不安

今田勝正議員

委員会では賛成したが、地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計について再度確認したところ、人口減少による税収増は望めず、過疎債も借金であるため、町財政に不安を感じる。

27年度国民宿舎特別会計補正予算(第1号)

(賛成多数・可決)

質疑

マリントラスの新指定管理者

問 4月から指定管理者が変わるが準備状況は。

答 新支配人のもと開設準備室が設置され、雇用関係の調整や取引業者への説明を行うほか、ホームページを開設し、予約受け付けを開始するなど着々と準備が進められています。



行政報告

災害時の応援に関する協定書の締結

12月14日、町内で災害などが発生した場合、食料や生活必需品などの物資供給をスーパーはまゆと、石油類燃料の供給が円滑にできるように福岡県石油商業・協同組合北九州支部遠賀中間部会芦屋分会とそれぞれ協定を締結しました。

この協定は、大規模災害等が発生した場合に、行政だけで



災害時応援協定を締結 H 27.12.14

行政報告とは・・・

町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成27年12月から28年3月までにおける行政報告の一部を掲載しています。

の対応には限界があるため、食料や生活必需品などのスムーズな供給や石油類燃料の優先供給を守ることに寄与します。

中学3年生までの医療費を無料化

県の制度に上乘せし、平成28年10月より開始

条例等

乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の改正

(賛成多数・可決)

従来は、中学1年から3年まで入院費のみ無料だったものを、28年10月から県の制度改正に伴い、条例名を改正し、中学1年生から3年生までの通院費を無料にする町独自の制度拡大です。

学童クラブ設置条例の改正

(賛成多数・可決)

【月16日以上利用の場合】月額6300円↓
6000円(1人あたり)
【月15日以下利用の場合】月額4200円↓
4000円(1人あたり)

保育料徴収条例の改正

(賛成多数・可決)

多子世帯及び母子世帯

等に係る保育料が国の優遇措置が拡充されたことにより軽減します。

一般職員の給与に関する条例の改正

(賛成多数・可決)

人事院勧告に基づき芦屋町職員の給料を27年4月より平均0.4%をアップし、併せて地域手

当2%を支給します。

公共施設等総合管理計画策定検討委員会設置条例

(賛成多数・可決)

町の公共施設等を総合的かつ計画的に管理するため、総合管理計画策定のための検討委員会を設置します。



東小学校学童クラブで行われたそうめん流し

質疑

問 目的及び計画年数は。

答 昭和40年代以降に公共施設が多く造られ、今後修繕費がかさむことや利用需要が変化する中で町が所有しているすべての建物、土地、道路の最適化を図ります。また、計画年数は10年を目安とします。

ものでは。

答 町にメリットのあるものを選択します。

賛成討論

下水道事業の課題解決となりうる

貝掛俊之議員

北九州市との連携協約の締結により、圏域の市の資源や機能の効率的な活用を図り、広域による行政展開のメリットを最大限に引き出し、いかなければならぬ。

芦屋町では下水道事業が今後の課題であり、北九州市との連携協約での解決策にやっとなが光が見えてきたものと考えます。

連携中核都市圏北九州都市圏域の形成に係る北九州市との連携協約の締結に関する協議

(賛成多数・可決)

地方公共団体相互間の協力を図るため、北九州市と芦屋町の連携協約の締結について議決が必要なもの。

質疑

問 連携協約の締結により施設の統廃合が進



3月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見がわかれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。 ○賛成、×反対、欠は欠席を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	松岡	今田	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	横尾	小田			
行政不服審査会設置条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
石油貯蔵施設立地対策基金条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
公共施設等総合管理計画策定検討委員会設置条例の制定	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	議長	7	3	可決
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
学童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
過疎地域自立促進計画の策定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
連携中枢都市圏北九州都市圏域の形成に係る北九州市との連携協約の締結に関する協議	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	議長	7	3	可決
平成27年度芦屋町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	8	2	可決
平成27年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	7	3	可決
平成27年度芦屋町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	8	2	可決
平成27年度芦屋町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
平成27年度芦屋町国民宿舎特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	8	2	可決

3月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

○賛成、×反対、欠は欠席を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	松岡	今田	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	横尾	小田			
平成 27 年度芦屋町給食センター特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
平成 27 年度芦屋町モーターボート競走事業会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	8	2	可決
平成 27 年度芦屋町公共下水道事業会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
平成 28 年度芦屋町一般会計予算	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	議長	7	3	可決
平成 28 年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計予算	○	○	×	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	7	3	可決
平成 28 年度芦屋町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	議長	8	2	可決
平成 28 年度芦屋町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	議長	8	2	可決
平成 28 年度芦屋町国民宿舎特別会計予算	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	議長	7	3	可決
平成 28 年度芦屋町給食センター特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
平成 28 年度芦屋町モーターボート競走事業会計予算	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	議長	7	3	可決
平成 28 年度芦屋町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
柏原漁港護岸改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	可決
専決処分事項の承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	承認
専決処分事項の承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	議長	9	1	承認

芦屋港湾活性化特別委員会設置

芦屋港のレジャー港化に向け調査を開始

芦屋港湾活性化特別委員会

委員長 辻本 一夫
副委員長 横尾 武志

これから、議員全員で芦屋町の将来のまちづくりの核となる芦屋港湾のレジャー港化に向けて調査していきます。

【委員数】
12人(全員)

【付議事件】
芦屋港湾の活用・活性化について

【審査期間】
調査終了まで

平成 28 年 1 月 20 日に開催された第 1 回臨時会で、芦屋港湾活性化特別委員会が設置されました。



芦屋港湾

観光まちづくり推進プラットフォーム化モデル事業 採択

第 2 回 臨時 会

一般会計補正予算 4400万円増額

観光まちづくり推進プラットフォーム化モデル事業一覧

モデル事業一覧	事業概要
観光まちづくり推進プロジェクト再構築	協議会の態勢づくり、各種事業の評価分析
情報発信プロジェクト	HPなどの製作、動画製作、プロモーション活動や町民向け情報発信調査
着地型観光プロジェクト	体験プログラムの創出、観光資源の発掘等
芦屋釜の里活性化プロジェクト	芦屋釜の里の観光資源化に向けた調査検討、試行
移住・定住促進プロジェクト	仕事と住居を提供し、お試し居住を行う
起業支援プロジェクト	若者を対象としたお試し起業

第2回臨時会が平成28年3月30日に1日の会期で開催されました。
国が進めている一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策として、町が申請した「観光まちづくり推進プラットフォーム（協議会）化モデル事業」が採択され、歳入歳出それぞれ4400万円を増額補正します。
(満場一致・可決)

**27年度一般会計補正
予算(第5号)**
(満場一致・可決)

歳入では、地方創生加速化交付金4400万円を増額し、歳出では観光まちづくり推進プロジェクト支援業務や情報発信用動画製作業務委託、特産品開発のため商工会補助金、若者を対象とした起業支援のチャレンジショップ店舗等借上料など総額4400万円を増額措置しています。
なお、予算は繰越明許(※28年度に執行すること)の措置をしています。

質疑

問 28年度はモデル事業であるが、翌年度以降はどうするのか。

答 翌年度以降はモデル事業の進行管理を行っていきます。



観光資源化が期待される芦屋釜の里

問 連携中枢都市圏における北九州との連携協定の関わりは。
答 移住・定住促進には北九州との連携が必要になります。またプロモーションやセールス部門は北九州と調整済みです。

問 各事業の予算配分では、重要な事業に多くの予算をつけているのか。
答 芦屋町において特に重要と考えられる芦屋流情報発信やマーケティング調査などに多くに予算をとっています。

一般質問

町政を問う

3月7、8日に議員6人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

ページ	質問議員	質問事項
15	妹川 征男	◎特別養護老人ホームの事務取り扱い ○憲法が保障する言論の自由
16	川上 誠一	◎子どもの権利条約から見た現状と子ども施策の充実 ◎障がい者問題 ○医療制度改革
17	松岡 泉	◎芦屋町まち・ひと・しごと創生の取り組み ◎救急医療情報キット ○子どもなどの貧困対策
18	辻本 一夫	◎町営墓地の利用
19	今田 勝正	◎新病院建設事業 ◎芦屋町の財政運営
20	田島 憲道	◎産業の活性化推進戦略





お 男 征 川 妹

内部告発者保護条例を制定する必要があるのでは

総務課長

職員からの通報、相談については適切に対処していきたい。

特別養護老人ホームの事務取り扱い

議員

22年度の特養50床間問題は未解決である。事実とかけ離れ、しかも不正な事務処理が行われた。町民からも徹底して追及すべきとの声がある。

(株)最上は住民説明会を行ったとして議事録を町に提出しているが、町は住民説明会を行っていたと判断しているのか。

課長

開催されたものと判断している。

議員

田屋区民は、住民説明会はなかつたと言っている。町長、確認に行ってみたらどうか。

町長

住民説明会が必要であるかないかは、県が判断する。そして県がそれを認めた。

議員

県は「住民説明会議

事録が偽物であれ、何であれ、点検はしない。町が点検することだ。」との回答だった。

町は公募したと言うが、それを実証するホームページのコンテンツ(内容)は存在するのか。

課長

募集に関するコンテンツは削除した。決裁書面と原稿は保存している。

議員

町のホームページには募集要項等が掲載され、職員や町内外の人も見て確認する。実は庁舎内外から「ホームページには掲載されていなかった。」と聞いている。

次に企業の不祥事が従業員等の内部告発で明らかになる事例が多発したことから、内部告発者の保護及び国民生活の安定と社会経済の健全な発展に資することを目的として公益通報者保護法が制定された。

町では数年前に工事の入札を巡って事件が発生した。自治体は情報を一手に掌握でき、職員



平成22年に最上が田屋地区で行った住民説明会議事録

課長

町では条例等制定はしていない。職員からの通報、相談については適切に対処していきたい。

自らが不正を行う場合や口利きや圧力を受けて不適切な事務処理を行うことがある。条例は職員同士で抑止力となり牽制し合える。さらに条例を盾にして外部からの圧力が絶たれ、町政を常に適正かつ公正なものに保つことができる。内部告発者保護条例を制定する必要がある。



かわ 川 しみ 誠 いち

子育て支援としての学校給食の 多子世帯に対する補助は

町 長

教育は大事な施策、補助は精査し
不要なものを削って検討する

**子どもの権利条約から見た
現状と子ども施策の充実**

議員 子どもの貧困計画の策定は。

課長 県の策定計画を見極め、経済状況や就学状況を調査し、実態把握や策定を検討する。

議員 子どもの貧困問題が深刻化する中で学習支援や食の提供を行う「子ども食堂」が注目されている。町での取り組みは。

課長 全国的に広がっており、子育てを地域全体で支えることは有意義と考えるが现阶段では考えていない。

議員 学校給食を無料化にし、学ぶ力が損なわれないようすべきと考えるが。

課長 全生徒・児童の給食費の無料化は財源が多額で現状では困難である。

議員 多子世帯の給食費の補助はできないのか。

町長 教育は非常に大事な施策であり、よく精査し、不要なものを削って回すことを検討する。

議員 子どもの意見を町の計画に取り入れる「子どもの権利条例」を制定しては。

副町長 地域福祉計画や子ども・子育て支援計画で対策しており、制定の考えはない。



山鹿小学校新1年生初めての給食 H 28.4.19

障がい者問題

議員 障害者差別解消法に対する取り組みは。

課長 地方公共団体等職員対応要領を作成し、不当な差別的取り扱いの防止等に取り組む。

議員 ^{注2}ノーマライゼーションを実現する観点から公共施設の入場料、利用料の軽減を行うべきでは。

課長 割引制度は外出の機会を促進するが、各施設の利用料等の考え方、運営方針もあるので関係課で検討していく。

議員 放課後デイサービスの現状と課題は。

課長 障がい児の居場所や生活能力向上の訓練を行うため菅屋小学校内に25年に開設し、14人が登録している。利用者の減少が課題である。

※注2 ノーマライゼーション

障害のある人とならない人が平等に生活する社会を実現する考え方



まつ松 おか岡 いずみ泉

町の地方創生事業をどう認識しているのか

町長

住民の意見を聞き、元気な芦屋をつくる上でも重要な5年間だ

芦屋町まち・ひと・しごと創生の取り組み

議員

町長は、この地方創生事業の重要性をどのように認識しているのか。

町長

今後の町の20年、30年後の将来を決める重要な5年間であると考え、住民の意見を聞き元気な芦屋をつくる。

議員

本事業に関わる核となるものはないか。

課長

特に重要視しているのが、「芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる。」ということである。

議員

事業推進上の懸案事項は何か。

課長

町民の方が町のことを知らないなどの指摘があり、特に町民向けの情報発信が重要である。行政や議会、関係者や住民が一丸となって、

町への思いをさらに醸成できるかが重要である。

議員

事業の推進力である役場の現場が疲弊状態に陥っているのではないか。

課長

2年前からの地域再生マネージャー事業や4月からの地域おこし協力隊事業により、外部からの支援を得ることにしている。今後推進していく上で、組織上の課題があれば、迅速に対応する。

救急医療情報キット

議員

キットの利用対象者の条件は。

課長

対象者は65歳以上の独居高齢者、65歳以上の者のみの世帯に属する者、障がいのある独居の者、子どもと暮らしているが、仕事等によって日中や夜間に独居の高齢者と同じ環境にある者である。

議員

キットの取り扱い要領の周知は。

課長

町職員や民生児童委員が直接利用者に渡し、取り扱い方法やカードの記載方法を説明しており、利用目的等は理解してもらっている。

議員

情報提供に自治区の支援は得られないか。

課長

個人情報に配慮しながら、区長等への協力を求めていきたい。



救急医療情報キット



おと かつ もと づ 辻 本 一 夫

町営墓地は、墓地管理条例を制定して管理をすべきでは

町 長

持ち主等の実態把握を行った後、条例化に取り組む

町営墓地の利用

議員

お彼岸やお盆に先祖の墓参りをするのが国民の慣習である。先祖の墓を守ることが困難な人は、納骨堂の利用やお寺での永代供養をしている人が多い。町民から町

営墓地を借りたいが、借りることができない等の声を聞く。町営墓地は何基で利用可能な区画はいくつあるのか。

課長

町営墓地は5カ所で1800基。利用でききる区画は若干の空き地はあるが、ほぼ満杯状態である。

議員

墓地は有償貸し付けか無償貸し付けか。

課長

2カ所の墓地では、昔から地域の方が利用していたので、組合を作って管理をしている。

議員

国有地である鶴松墓

地の貸し付けに対して国の指導は。

課長

国は国有林等を貸し出す際、原則有償貸し付けとする指導をしている。しかし、鶴松墓地は当初から国と無償貸付契約を結び、国から無償で借り受けている。

議員

直近の公募はいつ行ったか。また、次の公募予定は。

課長

平成10年度に鶴松墓地の公募を行ったところ、12区画に26人の応募があった。今は公募の予定はない。

議員

現場を見ると、整備があるので、墓地の借用希望者もいるので、早急に整備するべきだ。墓地の使用料・管理料は無料の上、清掃等の管理も行政が行うのは、過剰な住民サービスだ。管理台帳はあるのか。

課長

平成13年に現地確認し、台帳を整備した。

議員

町有地の無償貸し付けは、受益者負担の考えに反する。地代は使用料、維持費は管理料として徴収すべきだ。また、墓地管理条例を制定すべきだと考えるが。

町長

大事な問題だと思うが、長い歴史の中で今日に至っているのは、対応が難しいのも事実。まずは、持ち主の把握などから始め、先では管理条例化に取り組まねばならないと考える。



東小学校横にある町営の鶴松墓地



いま だ かつ まさ
今 田 勝 正

新病院建設 52億4000万円の財源は

財政課長

病院事業債 23億3000万円、
過疎債 26億4000万円など

新病院建設事業

議員 新病院建設事業の進捗状況は。

課長 27年7月に完了した基本設計に基づいて

設計業者と病院関係者、都市整備課とで協議を行い、図面の詳細設計や資料作成など、全体の約80%程度が完了している。

今後は実施設計の納品に向け、継続作業と合わせて積算業務を行い、建設費を算出していく。

議員 新病院建設に伴う財源は。

課長 建設の総事業費は、52億4000万円を

予定しており、うち病院の建設に要する費用が45億2000万円、医療機器の整備及び移転費用が2億8000万円。また、町の事業として実施している周辺道路の整備事業が4億4000万円である。



新病院全景イメージ図（基本設計時）

財源は起債の借り入れが主で、病院事業債が23億3000万円、過疎債が26億4000万円。残りが病院資金1億8000万円、町の資金が6000万円、国の補助金が3000万円である。

議員 開催予定である住民説明会の内容は。

課長 実施設計完了後に収支のシミュレーションを作成する。

○新病院全景イメージ図は基本設計時点の内容であり、実施設計で変更になる場合があります。

6月頃には校区別に3カ所で説明会を実施する予定である。内容は、新病院の施設の概要及び総事業費の財源内訳（国・病院・町の負担割合）、今後の病院経営の財政シミュレーションなど。

芦屋町の財政運営

議員 町の財政運営の課題は。

課長 26年度決算において、税収の割合が歳入全体の16%で、近隣の町村に比べて低い。また、全国的な課題だが、高齢化に伴う医療費や介護保険に係る負担金の増加などが見込まれる。さらに、現在多くの事業の財源として、過疎対策事業債を活用しているため、32年度で過疎対策法が失効した場合、投資的事業に影響が出る恐れがある。

このような将来の財源不足に備え、競艇収益まちづくり基金等に積み立てを行っている。

マリンテラスは、芦屋町の大事な観光資源



た じ ま けん どう
田 島 憲 道

地域づくり課長

事業者と協議・協力して利用者が満足する事業経営に努める

産業の活性化推進戦略

議員

4月から国民宿舎マリンテラスの指定管理者がかわるが、その事業者の企業概要やマリンテラスの今後の経営戦略は。

課長

4月からの指定管理者は株式会社グリーンハウスで、施設の維持管理・修繕等のハード面、従業員教育等のソフト面にも必要なコストをかけ、魅力的な施設で、長く利用者に愛される施設運営に取り組むそうだ。また、施設の集客向上、利用者サービス向上では、朝食や入浴の利用時間の延長、平日宿泊料金の低設定に取り組む。さらに食事は、芦屋町の食材を取り入れた食事とリゾート感あふれる夕食メニュー、ランチでは宿泊客・観光客だけではなく、地元の人を利用しやすい幅広いメニューを用意するということだ。

担当課として事業者と協議・

協力しながら、利用者が満足する事業経営に努める。

議員

指定管理者の納入金額が、6000万円から2000万円となり、大幅に減額した。

開業して17年、オープン当初

から働いている人が何名かいるが、間くと悲惨な雇用状況のようだ。雇用形態、給料等の待遇面はどうなるのか。

課長

従業員は、パートを含め47人。4月からの入社意志のある者と個人面談し、38人が残る。給与の条件では、現給よりも年収は下げないと聞いている。グリーンハウスの他のホテルから、支配人と料理長を配置し、不足する従業員を現在、募集している。

議員

年収は下げないというが、大変悪い条件の中、働いている。この5年間ボーナスが一度もなかったそう

だ。マリンテラスは、芦屋町における数少ない雇用の場であるが、それが全て時間給の臨時従業員だ。

経営について、雇用面や料理等の要望ができるのか。

町長

経営に望むにあたり、町が希望すること、してほしいこと、立ち位置などをしっかり要望する。地元雇用に関してや待遇面についても、それなりの労務管理を要望していく。



マリンテラスから見た夕日

行政が中核となった 第6次産業の取り組み

～沖縄県石垣市～

日程

2月8日から10日

視察先

沖縄県石垣市
沖縄県宜野座村
沖縄県嘉手納町

視察者

松上宏幸・田島憲道
妹川征男・刀根正幸
今田勝正・松岡 泉

石垣市

石垣市では、「第6次産業の取り組み」と「クレジット納税」について視察を行いました。

石垣市では、第6次産業に関わる地産地消法に

基づく事業計画の認定状況が10件で、経済規模を考慮すると多い状況にありました。その要因とし

ては、本土に無い多様な農産物があること、食品加工業が盛んであること、成長市場であるアジア市場に近いことが挙げられます。

このような環境を生かして、行政が中核となつて土地利用やマーケティングについて、

国や県への働きかけを積極的に行っています。

また、関係団体との情報交換が定期的に行われるなど隙のない取り組みが行われています。

良いものを作るため、当たり前前前を当たり前前のようにす

るといふ理念は、とても参考になりました。

「クレジット納税」については、コンビニ納税と併せて行われており、納税手段の利便性の上で、市民の好評を得ているそうです。時代の趨勢

でもあり、町としての懸案事項となりそうです。

宜野座村では、「ITサーバーファーム」、嘉手納町では、「元氣プロジェクト事業」について

視察を行いました。



石垣市での視察の様子

安全・安心に配慮した海釣り施設

～神奈川県横浜市～

日程

2月8日から10日

視察先

神奈川県横浜市
東京都港区台場
視察者

横尾武志・小田武人
辻本一夫・貝掛俊之
内海猛年

横浜市

大黒海釣り施設は、横浜市みなとみらい21計画において市民に親しまれる港として整備され、灯台堤防の上に設置され

た棧橋タイプの釣り場です。海釣り施設までの交通は最寄りのJR駅から50分かかりますが、外周にはフェンスを設置するなど、安全・安心にも配

慮され、土、日などは多くのファミリー利用者で賑わっています。

利用料金は大人900円、中学生450円、小学生300円で、施設はイオングループが指定管理者として運営しており、利用者が多く経営上の採算は取れているそうです。



外周にフェンスが設置された横浜市大黒海釣り施設

港区台場

臨海エリアの安らぎ空間
お台場海浜公園は臨海

副都心エリアに位置し、公園内には春分の日と秋分の日のみ夕日を見ることができ「夕陽の塔」があります。年2回の利用し放題ですが、公園のシンボルとして観光客や周辺都民の憩いの場所として多くの来場者があります。

また、バーベキュー広場やソーラー時計、野外ステージが整備され、安らぐ空間が演出されました。

町かどインタビュー

4月12日(火)、うららかな春の日に真新しい制服に身を包んだ新1年生146人が、芦屋中学校に入学しました。入学生者の保護者の坂本さんに芦屋町の子育て支援策などについてお話を伺いました。

Q ご入学おめでとうございます。子どもさんが入学された感想は？

A まだまだ活性化してほしいです。

A 不安と期待が入り混じっていますが、勉強に部活にがんばってもらいたい

Q 町に期待することは？
A 人口減少や交通の便の問題など、いろいろと難しい問題があるでしょうが、若い世代の声をどんどん取り入れてほしいです。

Q 芦屋町についてどう思いますか？

Q 高校生等へのバス通学補助制度や今年の10月から始まる中学3年生までの医療費の無料化についてどう思いますか？

A 高校2年生の息子と中学3年生の娘がいるので、大変助かります。

Q 現在、町では芦屋港のレジャー港化に向けて取り組んでいますが、どう思いますか？
A 芦屋町は海の町なので、活性化策として素晴らしい取り組みだと思います。期待しています。



芦屋中学校入学式の様子 H28.4.12



坂本さんご家族

次回の定例会は 6月13日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。
(TEL 223-3579)

議会事務局 職員の人事異動

平成28年3月末で、江嶋勝美局長が定年退職したことに伴い、新たに池上亮吉局長を迎えました。



左から中野係長、池上局長、志村(書記)、吉住(事務員)

議員控室

この度の熊本地震において、亡くなられた方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方に心よりお見舞い申し上げます。芦屋町議会としても、できる限りの支援をしたいと考えています。

芦屋町議会一同



熊本市へ届けられる町民の皆さんからの支援物資 H 28.4.25

【発行責任者】
議長 小田 武人
【議会広報常任委員会】
委員長 川上 誠一
副委員長 内海 猛年
委員 田島 憲道
委員 貝掛 俊之
委員 今田 勝正
委員 松岡 泉